

命の糧「食」の大切さを感じ・考え・伝えるために～酪農民泊体験実習in根室2014～

命の糧「食」とこれを産み出す農山漁村・第一次産業の価値・重要性を子どもたちに伝えていくことは教員の大きな役割です。

「酪農民泊体験実習in根室2014」は、こうしたことを身をもって実感し、理解を深めてもらおうと、釧路校教育実習委員会が根室地区農協青年部連絡協議会(安田正嗣会長)と株式会社ノースプロダクション(近江正隆社長)の多大なご支援・ご協力を得て、「教育フィールド研究Ⅷ」として平成26年5月30日(金)～6月1日(日)の2泊3日にわたり実施したもので、留学生を含む釧路校の学生・院生男女19名が参加しました。

1日目は中標津町総合文化会館「しるべつ」で牛の生態や酪農の仕事について講義を受けた後、デザート調理実習(ティラミス・チーズ煎餅)をさせていただきました。午後からは13軒の酪農家さんのお宅に分宿し、給餌・牛舎清掃や搾乳といった1泊2日の酪農生活体験をさせていただきました。

2日目には酪農家のみなさんと一緒にバーベキューを楽しんだ後、場所を移動し、合宿形式での振り返りを行って、今回の体験やうかがったお話を、自らの「生き方」としてどのように引き受け活かしていくか、皆で話し合いました。

参加した学生からは、「普段できない体験をすることで視野が広がった」「体験をすることで、牛や酪農・農業だけでなく、食や命、これらを育む地域を身近に感じ、自分事として考えられるようになった」「人と人とのつながり、命のつながりを実感できた」「今回の体験を他の人に伝えるためにはどうすれば良いか、考えていきたい」といった感想が寄せられました。(写真提供:株式会社ノースプロダクション)



牛の生態や酪農の仕事についての講義



デザート調理実習



酪農体験実習



酪農体験実習(搾乳体験)



酪農体験実習(搾乳体験)



酪農体験実習(牛のお散歩)



酪農体験実習(給餌の準備)



お世話になった酪農家の方との交流



体験を踏まえての意見交換会



感想発表会